

## ■ 掲示板

### ■ 独立行政法人理化学研究所 准主任研究員（定年制職員）公募について

独立行政法人理化学研究所では、以下の要領で准主任研究員を公募します。

1. 募集人数：1名
2. 募集分野：研究分野は特定しません。応募者自身の自由な発想に基づく学際的な研究分野を開拓していただきます。
3. 応募資格：長期的視野を持つ、次世代の科学技術分野を創成できる自律的研究者で、研究室を主宰するのに十分な能力と研究業績を有する方。（博士取得後10年未満程度）
4. 研究資金、権限、責任の範囲：
  - (1) 研究室立ち上げから最初の5年間で総額1億円を支給します。
  - (2) 所内、所外の様々な競争的研究資金への応募が可能です。
  - (3) 任期制研究員の人事推薦、基礎科学特別研究員/ジュニアリサーチアソシエイトの受け入れ、物品購入、研究資金申請、研究スペース申請等の権限があります。
  - (4) 室員のサービス管理、予算執行管理、物品使用管理等の責任があります。
  - (5) 定年制研究者の人事推薦権はありません。（既存の定年制研究者が移籍により室員となることは可。）その他の詳細は、<http://www.riken.jp/careers/researchers/20130501/>をご覧ください。
5. 待遇等：年俸制（報奨金制度有り）。通勤手当、住宅手当の支給有り。社会保険の適用有り。  
休日は、土日、祝日、年末年始（12/29-1/3）、当研究所設立記念日。その他、当研究所規程による。理研共済会（互助組織）に入会（理研共済会規約による）。  
日本学生支援機構奨学金（平成15年度までに大学院第一種奨学

生に採用されている場合）の返還特別免除の対象職。科学研究費補助金の申請資格有り。

6. 勤務形態：常勤、60歳定年。  
勤務地は、研究実施上の適性、センター長等との調整によって決定いたします。
7. 着任時期：2014年4月1日（原則）
8. 選考方法：書類審査による一次選考の後、2013年11月26日に面接セミナーを行います。  
選考の結果は、合否に関わらず通知致します。（Form1にご記入頂いたメールアドレスに通知致します。）  
審査内容、選考結果に関する個別の問合せはお受けできませんので予めご了承下さい。
9. 応募様式・その他：詳細はHPを参照して下さい。  
<http://www.riken.jp/careers/researchers/20130501/>
10. 応募締切：2013年7月31日（水）17時（日本時間）必着  
書類提出は郵送もしくは直接持参に限定。郵送の場合は必ず書留とする。E-mail、FAXでの申請の他、書類不備や締切後の申請は受け付けません。また、書類の返却はいたしません。
11. 書類提出・問合せ先：  
〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1（情報基盤棟 3階）  
（株）理化学研究所 外務・研究調整部  
准主任研究員事務局  
E-mail：riken-acs25@riken.jp 電話による問合せ不可  
[個人情報取扱について]  
提出頂いた書類は、独立行政法人理化学研究所個人情報保護規程に則り厳重に管理し、採用審査の用途に限り使用され、正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ございません。

## ■会告

### ■日本放射光学会第98回評議員会議事録

日 時：2013年4月13日(土) 14:00~16:00

場 所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス 大会議室

出席者：足立伸一，雨宮健太，雨宮慶幸，石川哲也，岡島敏浩，尾嶋正治，柿崎明人，鎌田雅夫，河田 洋，木下豊彦，木村昭夫，木村 滋，木村真一，坂田 誠，野村昌治，水木純一郎(会長)，百生 敦，山本雅貴，横山利彦，渡邊信久，木村洋昭(庶務幹事)，玉作賢治(編集幹事)，松田 巖(行事幹事)，松原英一郎(渉外幹事)

欠席者：太田俊明，籠島 靖，北村英男，小杉信博，繁政英治，辛 埴，田中 均，谷口雅樹，初井宇記，村上洋一，唯美津木(会計幹事)

事務局：佐藤亜己奈(WORDS)，西野三和子(WORDS)

#### 〈審議事項〉

##### 1. 次期会長・評議員選挙

木村庶務幹事より次期会長・評議員選挙のスケジュール、依頼文について説明があり、これを承認した。尚、今回から会長候補者の3名に抱負を作成してもらい、これを本選挙の際に学会ホームページで会員に公開し、投票依頼にも同封することとした。

##### 2. 第18回学会奨励賞公募

木村庶務幹事より第18回学会奨励賞の応募要綱について説明があり、これを承認した。

##### 3. 功労賞の制定について

水木会長より功労賞の内規案について提案があった。審議の結果、賞の趣旨については承認した。内規の細かい文言については正確な表現になるよう修正し、メール審議で承認することとした。

##### 4. 学会ホームページのリニューアルについて

学会ホームページのリニューアル案を確認した。デザインを全面的に刷新し、Twitterを使用して各施設の新着情報を表示、アフィリエイト広告も導入した。また、オンライン会誌について、全ての目次と掲載から1年を過ぎた記事のPDFを一般に公開することを承認した。

##### 5. 会員異動

木村庶務幹事より、第97回評議員会以降の入退会申請者に関して、入会：正会員4名(うち学生会員2名)、シニア会員9名、賛助会員1社1口、特別賛助会員2団体2口の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員26名(うち学生会員13名)を確認した。2013年4月13日現在の総会員数は1,297名(うち学生会員110名)、名誉会員5名、シニア会員14名、賛助会員41社(43口)、特別賛助会員7団体(8口)。

##### 6. 協賛・後援について

本学会に対する協賛・後援依頼について報告があり、協賛13件、後援2件を承認した。

#### 〈報告事項〉

##### 1. マスタープラン改定について

マスタープランの改定を行い3月30日に学術会議に申し

たとの報告があった。改定版は学会ホームページおよび学会誌26-4号(7月号)に掲載をすることとした。

##### 2. AOFSSRR2013について

2013年9月21日-24日にイーグレ姫路で開催されるAOFSSRR2013の準備状況について報告があった。

##### 3. JSR13報告, JSR14準備状況

松田行事幹事より第26回年会・合同シンポ(JSR13)および市民公開講座の参加者数、収支などについて報告があった。また、2014年1月11日(土)-13日(月)に広島国際会議場で開催予定の第27回年会・合同シンポ(JSR14)準備状況について報告があった。

##### 4. 第5回若手研究会の公募状況について

松田行事幹事より、第5回若手研究会の公募に対して2件の申請があり、2013年4月末にヒアリングを実施予定との報告があった。

##### 5. 第5回放射光基礎講習会企画について

松田行事幹事より第5回放射光基礎講習会の企画案について説明があった。開催日は8月上旬、場所は東京大学工学部52号講義室を予定。

##### 6. 編集委員会報告

玉作編集幹事より、編集委員会報告があった。査読制度について、一部の委員の負担が大きい等の問題があり、会員または任期終了1年目の編集委員にも査読をお願いすることを検討中。

##### 7. 増補版ビームライン光学技術入門

増補版放射光ビームライン光学技術入門の出版状況について報告があった。3月に納品され現在販売中。現在の販売総数は約100部。

##### 8. 学会の法人格取得に関して

昨年10月に日本学術会議より「新公益法人制度への移行状況等に関するアンケート」調査依頼があり、当面新公益法人への移行予定なしという趣旨の回答を行った。今年の3月末に、このアンケートの調査結果報告が届き、現状として多くの学会が未だ「任意団体」にとどまっているが、何らかの方法で法人格を取得することを薦めるといった内容が書かれていた。これについて報告があり、法人格取得に関して、出席委員で情報交換を行った。今後も情報を集め、整理していくこととした。

#### 評議員会日程(予定)の確認

第99回評議員会2013年7月20日(土)

場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス

#### ■会員異動

##### 第98回評議員会(2013年4月13日)で承認

#### 《正会員入会》

大江 裕彰 東洋ゴム工業株式会社

熊井 玲児 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所

以上2名

《学生会員入会》

山本 真吾 東京大学理学系研究科物理学専攻松田巖研究室  
大島 一真 早稲田大学先進理工学研究科関根研究室

以上 2 名

《シニア会員入会》

田中 正義 神戸常盤大学客員教授 大阪大学核物理研究センター共同研究員

梅野 正隆 大阪大学名誉教授

寺内 暉 関西学院大学名誉教授

丸茂 文幸 東京工業大学名誉教授

明石 義人

向山 毅 ハンガリー科学アカデミー原子核研究所

張 紀久夫 大阪大学 レーザーエネルギー学研究所

神前 熙

合志 陽一 一般社団法人 国際環境研究協会

以上 9 名

《賛助会員入会》

㈱ピーエムティイー (1 口)

以上 1 社 1 口

《特別賛助会員入会》

公益財団法人 佐賀県地域産業支援センター 九州シンクロトロン光研究センター (1 口)

立命館大学 SR センター (1 口)

以上 2 団体 2 口

《退会会員》

正会員 13 名, 学生会員 13 名

《会員数》

会員 1297 名 (内学生 110 名) 名誉会員 5 名 シニア会員 14 名

賛助会員 41 社 (43 口) 特別賛助会員 7 団体 (8 口)

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 玉作賢治

渉外幹事 松原英一郎

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr263

Password : L3d7Nukj

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、松原 (matsubara.eiichiro.6z@kyoto-u.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、玉作 (tamasaku@spring8.or.jp) までお願いします。

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2013年 6/30-7/3	第13回 SPring-8 夏の学校 —最先端の放射光科学を学ぶ—	SPring-8 キャンパス	(公財)高輝度光科学研究センター, (独)理化学研究所 播磨研究所, (独)日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門, 兵庫県立大学大学院物質科学研究科・生命科学研究科, 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所, 関西学院大学大学院理工学研究科, 東京大学放射光連携研究機構, 岡山大学, 北陸先端科学技術大学院大学 E-mail: 2013summerschool@spring8.or.jp	26・2
7/8-10	日本結晶学会講習会「粉末 X 線解析の実際」	東京理科大学 1 号館 17階記念講堂	日本結晶学会 E-mail: crsj-xray@bunken.co.jp	26・3
8/6-7	第41回 薄膜・表面物理セミナー (2013) 『放射光を用いた構造・電子状態解析の最前線: 硬 X 線光電子分光 (HAXPES) と X 線吸収微細構造 (XAFS)』—最先端解析手法により電子状態・反応挙動をみる—	東工大田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター国際会議室	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会 E-mail: kamimura@jsap.or.jp	26・3
8/16-24	第 7 回大学生のための素粒子・原子核, 物質・生命スクール —サマーチャレンジ〜宇宙, 物質, 生命 21世紀の謎に挑む〜	KEK (つくばキャンパス)	KEK, 高エネルギー物理学研究者会議, 原子核談話会, PF-UA E-mail: ksc13@kek.jp	26・2
9/3-6	第53回 (2013年度) 真空夏季大学	ヤマハリゾートつま恋	一般社団法人日本真空学会 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org	26・3
9/5-7	第16回 XAFS 討論会	東京大学理学部 理学部本館 化学講堂	日本 XAFS 研究会 E-mail: xafs16@chem.s.u-tokyo.ac.jp	26・3
9/7-8	SPring-8 シンポジウム2013 「Innovative Science & Technology for the Next Generation」—放射光科学の将来と産業イノベーション—	京都大学宇治おうばくプラザ	SPRUC, JASRI, 理研, 京都大学 E-mail: sp8sympo2013@spring8.or.jp	26・3
9/23-27	第49回 X 線分析討論会および第15回全反射蛍光 X 線分析法 (TXRF2013) 国際会議合同会議	大阪市立大学 (杉本キャンパス) 学術情報総合センター	日本分析化学会 X 線分析研究懇談会 E-mail: tsuji@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp	26・2
11/14-16	第54回高圧討論会	朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター	日本高圧力学会 E-mail: touronkai54@highpressure.jp	26・3

本欄では, 研究会, シンポジウム, 国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし, 様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

## ■日本結晶学会講習会「粉末 X 線解析の実際」

主催：日本結晶学会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2013年7月8日(月)，9日(火)，10日(水)

会場：東京理科大学1号館17階記念講堂

東京都新宿区神楽坂1-3 Tel 03-3260-4271 (代表)

[交通] JR, 地下鉄飯田橋駅より徒歩4分。

参加費 (各々1コース，2コース，3コースを受講した時の費用)：

主共催および指定学会\*会員：7,000，12,000，15,000円

協賛学会会員：9,000，14,000，17,000円

一般：11,000，19,000，27,000円

学生：4,000，7,000，10,000円

\*日本化学会，日本分析化学会，日本薬学会

※テキストとして「粉末 X 線解析の実際」第2版(朝倉書店，売価6,090円)を使用します。

お持ちでない方は，受講生ひとり1冊に限り特別割引価格の4,000円で頒布します。

定員：

160名(先着順) 前は満員となりましたので，早めの申込をお勧めします。

申し込み方法：

講習会参加希望者は結晶学会ホームページ上の以下のサイトから Web 申込システムをご利用の上，お申し込みください。

<https://bunken.org/crsj/conf201307/>

申込問合せ先：

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5

アカデミーセンター 日本結晶学会ヘルプデスク

TEL：03-5389-6372 FAX：03-3368-2822

E-mail：crsj-xray@bunken.co.jp

内容問合せ先：

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3

東京理科大学理学部応用化学科 中井 泉

TEL：03-3260-4271 (内線5761)

E-mail：inakai@rs.kagu.tus.ac.jp

ホームページ：

日本結晶学会 HP：<http://www.crsj.jp/>

X 線分析研究懇談会 HP：

<http://www.nims.go.jp/xray/xbun/index.htm>

泉 富士夫 HP：<http://fujioizumi.verse.jp/index.html>

グリーン光科学技術研究センター HP：

<http://www.rs.kagu.tus.ac.jp/green/>

## ■第41回 薄膜・表面物理セミナー (2013)

『放射光を用いた構造・電子状態解析の最前線：硬 X 線光電子分光 (HAXPES) と X 線吸収微細構造 (XAFS)』  
—最先端解析手法により電子状態・反応挙動をみる—

放射光を用いた構造・電子状態解析の発展は目ざましく，中でも硬 X 線光電子分光法 (Hard X-ray Photoelectron Spectroscopy: HAXPES) では，高分解能・バルク敏感という特徴を活

かし表面汚染の影響を低減させて物質の電子状態を精密に解析でき，さらに，埋もれた界面への適用や *in situ* 解析へも応用が広がっています。また，X 線吸収微細構造 (X-ray Absorption Fine Structure: XAFS) では，実用的な条件下での *in situ* 解析が飛躍的に進み，各種電池デバイスや環境触媒などの動作下・反応下における詳細な構造変化が解析できるようになってきました。本セミナーでは，HAXPES と XAFS に焦点を当て，第一線でご活躍されている講師の方々に最新の成果をご紹介します。多くの方々のご参加をお待ちしております。

主催：応用物理学会 薄膜・表面物理分科会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2013年8月6日(火) 13:00-17:00(受付開始12:30)，  
8月7日(水) 10:00-17:00 (受付開始9:30)

場所：東工大田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター 国際会議室

(東京都港区芝浦3-3-6, Tel: 03-3726-1111,

JR 線・田町駅下車 徒歩2分)

<http://www.cictokyo.jp/access.html> (アクセスマップ)

定員：80名 (満員になり次第締め切ります。)

参加申込締切：2013年7月19日(金)

参加申込方法：

下記分科会ホームページ内の登録フォームにて参加登録してください。

<https://annex.jsap.or.jp/phpESP/public/survey.php?name=HakuhyouSeminar41>

参加登録完了後，下記銀行口座に参加費をご連絡いただいた期日までにお振込ください。原則として参加費の払い戻し，請求書の発行は致しません。領収書は当日会場にてお渡しいたします。

参加費振込期限：2013年7月26日(金)

参加費振込先：

三井住友銀行 本店営業部 (本店でも可)

普通預金 口座番号：9474715

(社) 応用物理学会薄膜・表面物理分科会

(シャ) オウヨウブツリガッカイハクマク・ヒョウメンブツリ  
ブンカカイ

セミナー内容問合せ先：

東北大学 高桑雄二

TEL：022-217-5365 FAX：022-217-5405

E-mail：takakuwa@tagen.tohoku.ac.jp

東レリサーチセンター 山元隆志

TEL：077-533-8615 FAX：077-533-8628

E-mail：Takashi\_Yamamoto@trc.toray.co.jp

参加登録問合せ先：

応用物理学会事務局分科会担当 上村さつき

TEL：03-5802-0863 FAX：03-5802-6250

E-mail：kamimura@jsap.or.jp

## ■第53回 (2013年度) 真空夏季大学

主催：一般社団法人日本真空学会  
 協賛：日本放射光学会，他  
 日時：2013年9月3日(火) 12:00より  
 9月6日(金) 12:00まで  
 会場：ヤマハリゾートつま恋  
 〒436-0011 静岡県掛川市満水2000  
 Tel: 0537-24-1111  
<http://www.tsumagoi.net/>

### 参加費：

(1)一般88,000円(受講料53,000円, 宿泊費35,000円) (2)日本真空学会法人会員に属する個人及び夏季大学協賛団体会員80,000円(受講料45,000円, 宿泊費35,000円) (3)日本真空学会個人会員68,000円(受講料33,000円, 宿泊費35,000円) (4)学生会員50,000円(受講料15,000円, 宿泊費35,000円) いずれも、受講料にはテキスト、パワーポイント配布資料を含みます。宿泊費には3泊4日食費等・消費税を含みます。懇親会(自由参加)については、懇親会費(500円)を現地で徴収いたします。

### 申込手続：

申込受付は2013年5月7日(火)より。所定の申込用紙(日本真空学会ホームページおよびJVJSJ誌3・4月号に掲載)により、FAX・郵送又はE-mailで必要事項を記入してお申し込み下さい。申し込みを受け付けた方には通知書を差し上げます。通知書が到着しましたら、到着の日から起算して30日以内に、参加費を通知書記載の口座に振り込んで下さい。振り込みを確認次第、受講票及び領収書等をお送りします。会費を振り込まれた後の「受講者の都合による取り消し及び不参加」の場合は、払い戻しは致しません。ただし、参加者の変更は、さしつかえありません。

### 申込先：

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号  
 機械振興会館306号室 一般社団法人日本真空学会  
 TEL 03-3431-4395 FAX 03-3433-5371  
 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org  
<http://www.vacuum-jp.org/>

### 申込締切：

2013年7月29日(月)。ただし、定員(120名)に達したときは締切日前でも締切ります。なお、7月に入ってから申し込まれる方は、予めお問い合わせのうえお申し込み下さい。

### その他：

- 一般参加または協賛団体会員と日本真空学会個人会員との会費の差額20,000円または12,000円は真空学会個人会員の年会費(10,000円)以上に相当します。真空夏季大学申込と同時に入会申込でも会員の参加費が適用されます。入会を希望される方は、前記申込先に記載のホームページより入会申込手続をお願いします。
- 各都道府県には「生涯能力開発給付金制度」があり条件により受講料が給付の対象となります。

## ■第16回 XAFS 討論会

主催：日本 XAFS 研究会  
 協賛：日本放射光学会，他  
 日時：2013年9月5日(木)~9月7日(土)  
 場所：東京大学理学部化学本館 講堂  
 〒113-0033 文京区本郷 7-3-1

### 研究主題：

X線吸収微細構造(XAFS)及び関連現象に関する理論、解析方法、実験技術、基礎及び応用研究

### 討論分野：

- (1) XAFS 及び関連現象に関する理論
- (2) XAFS 及び関連現象に関する解析方法
- (3) XAFS 及び関連現象に関する実験技術
- (4) XAFS の化学への応用
- (5) XAFS の物理への応用
- (6) XAFS の材料科学への応用
- (7) XAFS の生命科学への応用
- (8) XAFS の地球環境科学への応用
- (9) その他 XAFS 関連研究

### 討論会形式：

招待講演(3件程度)、一般講演(50件程度)、ポスター発表(40件程度)  
 放射光施設報告・ユーザーグループミーティング  
 (SPring-8, KEK-PF, SAGA-LS, 分子科学研究所などを予定)

発表申込締切：2013年7月15日

予稿原稿締切：2013年7月31日

事前参加登録締切予定：2013年8月23日

### ホームページ：

<http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/users/spectrum/xafs16.html>

連絡先：第16回 XAFS 討論会 事務局

E-mail: xafs16@chem.s.u-tokyo.ac.jp

## ■SPring-8 シンポジウム2013

「Innovative Science & Technology for the Next Generation」—放射光科学の将来と産業イノベーション—

供用開始から16年経つ SPring-8 は、新たな社会的要請に対応するためにビームラインの高度・高機能化に向けた改造やそれぞれに特徴を持つ新たなビームラインの建設が着実に進められています。その結果、世界のフロントランナーとして、数々の成果を創出し、放射光科学を牽引する役割を果たしています。今後、SPring-8 において継続的に優れた成果を創出し続けるために、これまでの任意会員による SPring-8 利用者懇談会を発展させ、学術界、産業界の利用者全員で組織する「SPring-8 ユーザー協団体」(SPring-8 Users Community: 以下 SPRUC) を2012年4月に創設しました。SPRUC のミッションは、SPring-8 と連携して、施設や計測技術の先端性や利用システムの利便性の向上に寄与すると共に、SPring-8 の利活用を通して、科学技術の進歩、新学術、新産業の創成、更には、人材育成や社会の発展に寄与することです。

このSPRUCの中心的な活動の一つとして、昨年の大阪大学でのシンポジウムに続き、SPring-8シンポジウム2013を開催します。このシンポジウムは、様々な分野にわたるユーザーの科学技術的交流の場として、学協会、SPRUCを構成する代表機関、SPring-8施設者（鈷理化学研究所：以下理研・（公財）高輝度光科学研究センター：以下JASRI）と共に開催するものです。

今回の京都のシンポジウムでは、先進の強相関物理学・交差相関物性学と、一般的にも広く知られるようになったiPS細胞を包含する物質-細胞統合システムの分野における先進の研究成果とSPring-8の利活用を介した将来の産業展開、さらには、新元素戦略の名の下に、触媒・電池材料、磁性材料、構造材料をキーワードに産業の足腰を強化する元素戦略プロジェクトがSPring-8に期待する将来の利活用、専用ビームラインがすでに建設され現在先進の研究が実施されているフロンティアソフトマター、革新型蓄電池の研究の現状と産業展開などについて、各分野を率いるフロントランナーによる講演を予定しています。また、本シンポジウムではSPring-8の約30件に上る施設側からの最新ビームライン状況の報告とユーザーグループ、専用ビームライン、パワーユーザー、長期利用課題による先進の測定・解析技術についても、2日間のポスターの常設展示および2日目の昼に予定しているポスターセッション（コアタイム）を通して、SPring-8の利活用の促進と発展のための情報の共有と、利用者相互および施設との意見交換の場を設けております。そして、パネルディスカッションでは、SPRUCの9つの研究分野の「研究会活動の活性化に向けた領域の将来ビジョン」についての意見討論・交換の場を設けています。これらの様々な取り組みを通して、SPring-8の発展的な利活用の方向性について議論を共有し、深めていくことを目指したいと思っております。学術界のみならず、産業界の研究者や技術者の参加により、将来のSPring-8の活性化に向けた議論ができることを期待しています。

**主催：**SPRUC, JASRI, 理研, 京都大学

**日時：**2013年9月7日(土)～8日(日)

**場所：**京都大学宇治おうばくプラザ

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

TEL 0774-38-4394

<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/campus/obaku.html>

**問合せ先：**

公益財団法人 高輝度光科学研究センター

SPring-8シンポジウム事務局

垣口伸二, 吉川史津 (研究調整部)

E-mail : [sp8sympo2013@spring8.or.jp](mailto:sp8sympo2013@spring8.or.jp)

<http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2013/>

sp8sympo2013

## ■第54回高圧討論会

**主催：**日本高圧力学会

**協賛：**日本放射光学会, 他

**日時：**2013年11月14日(木)～16日(土)

**会場：**朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター (新潟市)

<http://www.tokimesse.com/visitor/access/>

**分野：**高圧力の科学と技術に関する次の分野

①高圧装置・技術 ②固体物性 ③固体反応 ④流体物性

⑤流体反応 ⑥地球科学 ⑦生物関連

⑧衝撃圧縮 (ただし④, ⑤, ⑦には溶液, 界面, および食品を含む)

**発表形式：**口頭発表, ポスター発表

**特別企画：**

「新潟と米 —おいしさと多様な利用を巡って— (仮題)」

大坪研一 (新潟大学農学部応用生物化学科・教授)

**講演申込締切：**7月19日(金)

**参加登録予約締切：**

10月2日(水) 締切後は当日申込にてご参加ください。

**参加費：**

本会, 共催・協賛学協会会員 (4,000円), 非会員 (6,000円)

本会, 共催・協賛学協会学生会員 (2,000円), 非会員学生 (3,000円)

(当日申込の場合は各1,000円増しになります。)

**要旨集：**5,000円

**申込先：**

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4

大阪駅前第4ビル9階923-674号

株式会社ポラリス・セクレタリーズ・オフィス内

第54回高圧討論会事務局

Tel : 070-5658-7626 (笹部)

Fax : 020-4622-1920/06-6345-7931

E-mail : [touonkai54@highpressure.jp](mailto:touonkai54@highpressure.jp)

**実行委員会：**

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050

新潟大学理学部物理学科 山田 裕 (実行委員長)

Tel : 025-262-6350

E-mail : [yamada@phys.sc.niigata-u.ac.jp](mailto:yamada@phys.sc.niigata-u.ac.jp)

詳細は学会ホームページ

<http://www.highpressure.jp/>にて随時ご案内する予定です。